

リンゴ樹の材質腐朽菌

研究のねらい

青森県のリンゴ園には老木が多いが、これらの多くは心材部が腐朽し、そのため枝折れなどの被害を受けている。そこで、リンゴ樹材質腐朽の発生実態及び材質腐朽に関与する菌種を明らかにする。

研究の成果

青森県の比較的古いリンゴ園における材質腐朽菌の発生樹率は26.7%、空洞形成樹率は37.0%であった。それらの発生率は樹齢30年を越える頃から急増した。

リンゴの樹上に子実体（キノコ）が発生し、菌種が明らかとなったものは30種であった。主要な害菌はシロアメタケ、ムラサキウロコタケ、ベッコウタケ、ヌメリスギタケモドキ、カワラタケ、ニオイヒメアマミタケ、ヒメモグサタケ、カタシラガタケ及びシワタケと考えられる。これらの中で材質腐朽力が強かった菌種は、シロアメタケ、ベッコウタケ、ニオイヒメアマミタケ、シワタケであった。



シロアメタケ



ベッコウタケ



ニオイヒメアマミタケ

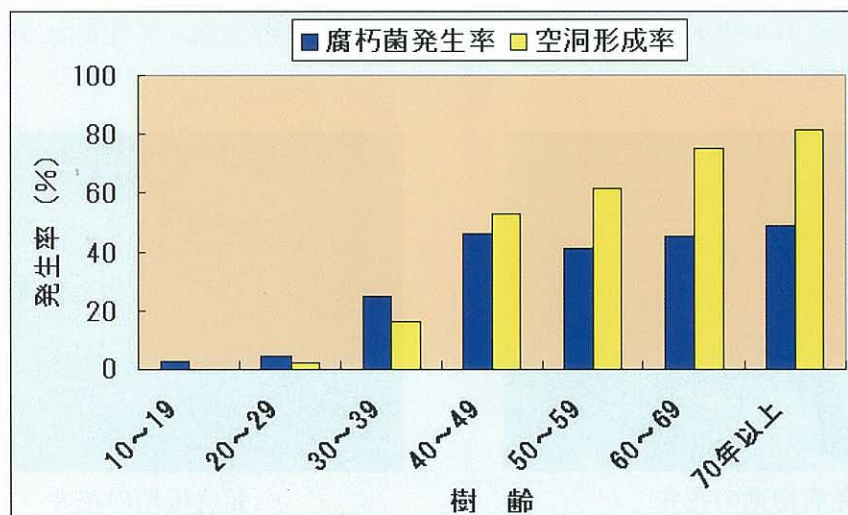


心材腐朽による空洞形成

主要な試験データ

第1表 リンゴ樹に発生する主な腐朽菌と子実体発生樹率

菌 名	発生樹率 (%)	菌 名	発生樹率 (%)
シロアメタケ	11.4	カタシラガタケ	0.3
スエヒロタケ	10.9	シワタケ	0.3
タヌキノチャブクロ	0.8	ヒラタケ	0.3
ムラサキウロコタケ	0.8	カイガラタケ	0.2
ヌメリスギタケモドキ	0.7	アラゲカワラタケ	0.2
カワラタケ	0.7	ヒトヨタケ	0.2
ニオイヒメアマタケ	0.5	ヤニタケ	0.1
ヒメモグサタケ	0.5	ミダレアマタケ	0.1
ベッコウタケ	0.4	オオチリメンタケ	0.1



第1図 樹齢と腐朽菌発生率及び空洞形成率

発表資料

1. 藤田孝二ら (1985). 青森県におけるリンゴ樹の材質腐朽に関する調査. 青森りんご試報 22: 55-64.
2. 田中弥平 (1981). 原色リンゴ病虫害図説 病害編. 青森県りんご協会発行.